

| | |
|------------------|---|
| Title | 三田哲学会へのお便り |
| Sub Title | On Mita Philosophy Society and Myself |
| Author | 西谷, 謙堂(Nishitani, Kendo) |
| Publisher | 三田哲學會 |
| Publication year | 1990 |
| Jtitle | 哲學 No.91 (1990. 12) ,p.68- 68 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 文学部創設百周年記念論文集I Essay |
| Genre | Journal Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000091-0068 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田哲学会へのお便り

名誉教授 西 谷 謙 堂

拝復 残暑のうつりかわりがいつ頃かわからず閉口しております。

さて過般御通知いただきました三田哲学会の記念号に執筆するよりの御言葉をいただき誠に恐縮に存じております。

その後この件は脳裏を離れませんでした。私は 1899 年 5 月生まれで只今 91 歳を過ぎました。生来脳細胞が劣弱な上視力がめっきり衰え、文字の読み書きに極めて不自由であります。加えて老妻 (85 歳) が「脳こうそく」に襲われ、病院の診察の結果自宅療養をすすめられましたので、私は 1 時間以上は外出ができない不自由な状態でその日その日を送っております。

なお御手紙をいただいた時から今日まで気にかかって居りましたが、資料もなく (一部は塾の教育学の研究室に移されて居ります) 手元には殆ど残って居りません。亡父のたつての願望で大正 7 年? に慶應義塾大学に入学しましたが、記憶もうすれてしまいました。しかし以来多数の先生方に教えを受けました。高学年になってから川合貞一、横山松三郎、船田三郎、小林澄兄、稲垣、末松、沢木梢、伊藤吉之助などの先生方に、殆ど 1 対 1 の授業で教えを受け、60 数年以前のことですが、ありありと当時の有様が眼の中に顯われて参ります。立派な記念号が出来上がることを祈念いたして居ります。

先づは以上御詫びまで。

乍末筆哲学会役員の方々によろしく申し上げて下さい。

敬 具

平成 2 年 8 月 26 日